



デーモン・キー・レオン・カプチャック・ハスタートの取締役社長に クリスティーン A. 久保田が就任

この度、デーモン・キー・レオン・カプチャック・ハスタート（以下「デーモン・キー」）の取締役社長に、弁護士のクリスティーン・A・久保田が就任しました。久保田は1988年にデーモン・キーに入社し、1994年より同事務所の取締役を務めています。久保田は、長年にわたり弁護士として、また地域社会で功績を積み重ね、当事務所はもとより、様々な団体に多大な貢献を寄せてきました。新しい役職において、会社の運営はもとより、ビジョン、戦略、人材開発にも責任を負うこととなります。

デーモン・キーの取締役副社長であるダグラス・スミスは、「取締役会は、満場一致でクリスティーンを当事務所の次期リーダーに選出しました。彼女の卓越した法的知識とビジネス、そして地域社会に対する洞察力は、デーモン・キーの60年にわたる歩みを次の章に導く上での比類なき資質と言えます」と述べています。

日本で生まれ育った久保田は、当初は日本語を話すクライアントのニーズに応えるために弁護士としてのキャリアを積んできました。今日では、ビジネス・商法、雇用、移民・帰化法、不動産、遺言・信託・遺産などの分野を担当しています。

久保田は2023年もまた、ビジネス組織（LLC、パートナーシップを含む）、同業者が選ぶ米国のベスト弁護士リスト（The Best Lawyers in America®）に、企業法、不動産法および雇用法の分野で選出されました。過去には、255以上の世界市場にメンバーを擁する商業法律事務所の世界的アフィリエイトであるメリタスの取締役を務めたこともあります。

社長就任に際し、「35年にわたるデーモン・キーのオハナ（家族）の一員として、常に事務所と依頼人の成功を目標に掲げ注力して参りました。才能豊かな弁護士やスタッフを擁するこのダイナミックで進歩的な会社の社長に、同僚たちから選出してもらえたことは、私にとって最高の荣誉だと思っています」と、久保田は述べています。

久保田は、伊藤園ハワイ、東海インターナショナルカレッジ、近鉄ハワイ、アランチーノ・レストラン、仙台育英学園、アンテプリマなど多数の日本企業や投資家、個人投資家の方々がハワイに適應し、日本とは大きく異なる法的課題を乗り越えられるよう手助けする機会を得たことをとても嬉しく思っています。

久保田は女性として初めて、ワイアラエ

カントリークラブの理事に選出されました。また、ハワイの子どもたちへ質の良い読書の機会を提供するためにクリスティーン・ヤマグチ氏が立ち上げた非営利団体、オールウェイズ・ドリーム基金の理事も務めています。

ホノルル日系人商工会議所元会頭をはじめ、ハワイ州日系人連合協会、ハワイ日本文化センター元会長、元年者150周年記念式典の共同委員長を務めるなど、久保田はハワイの日系人社会の中で何十年にもわたり、そのリーダーシップをいかに発揮し続けています。現在ではパンパシフィック・フェスティバル（まつりインハワイ）諮問委員会委員長、広島県人会およびNPOハワイアロハライフ協会の理事などを兼任。ハワイ主婦ソサエティの名誉会員やハワイ日本文化セ

ンター理事など、その活躍は枚挙にいとまがありません。

2019年、久保田は日本の皇居にて、世界の賓客約2,000人とともに、天皇陛下の即位を正式に宣明する「即位礼正伝の儀」に参列し、歴史が刻まれる瞬間に立ち会うという、またとない機会に恵まれました。また、2018年には「元年者式典」での活躍が評価され、在ホノルル日本領事館から感謝状を授与されています。

久保田はパシフィック大学マックジョージ法科大学で法学博士号を取得。また、シャミナード大学では国際関係学とアジア研究の学士号を取得しています。

デーモン・キー・レオン・カプチャック・ハスタート

1963年に設立。国際的な法律事務所ならではのコネクションと実績で、個人、家族、そしてハワイのビジネスコミュニティに貢献し、ビジネス法および商業訴訟において最高水準の技術を保持しています。当事務所は、世界94カ国に187以上の一流独立系法律事務所を擁する世界的ネットワーク、メリタスのハワイにおける唯一のメンバーです。デーモン・キーにおける各弁護士の取扱分野は以下の通りです：上訴、事業・商業法、コンドミニウム&地域自治会法、建築法、債権者の権利と破産、移民帰化法、保険、土地利用と土地収用、訴訟・紛争解決、不動産、課税、遺産計画。

1003 Bishop Street, Suite #1600, Honolulu, Hawaii 96813
www.hawaiilawyer.com